



「笑顔とつながり」

永田台

サスティナブルスクール

No.573 9月号
横浜市立永田台小学校
TEL(714)4277
令和5年8月31日



進んであいさつ
笑顔あふれる
住みよいまちに

姉妹校ホーソン西小学校を見学して

月曜日から学校が始まり、学校に子どもたちの元気な声が聞こえています。少し日焼けして背が伸びた子どもたちが登校してきたのを見て安心しました。

私は夏休み最後の週にオーストラリアにある姉妹校ホーソン西小学校を見学してきました。そこで見聞きしてきたことを紹介します。



ホーソン西小はメルボルン中心から電車で20分ほど離れた住宅街の中にあります。学校からメルボルン中心地が見える様子は、永田台小からランドマークタワーが見える様子とそっくりでした。各学年とも2クラスですが、1クラスの人数は20人ほどなので、児童数は永田台小の半分くらいです。日本で英語の授業があるように、日本語を取り入れています。(学校によっては日本語以外の言語を学習しています)あいにく



その日2, 3, 4年生は校外学習に出かけていたのですが、たくさんの子が廊下で出会うと「コンニチハ」と元気に挨拶してくれました。日本語の授業では、「きみをのせて」(天空の城ラピュタの歌)を日本語で歌ってくれました。多くの子が日本のことに興味をもっており、私への質問コーナーでは「日本には自動販売機がたくさんありますか？(オーストラリアにはあまりありません)」とか「子どもたちはどんなアニメが好きですか？」といったことを聞かれました。「日本の子どもたちはポケモン、ドラえもん、ワンピース、スパイファミリー、となりのトトロなどが好きです」と答えると、「知ってる！」と嬉しそうにうなずいていました。



の城ラピュタの歌)を日本語で歌ってくれました。多くの子が日本のことに興味をもっており、私への質問コーナーでは「日本には自動販売機がたくさんありますか？(オーストラリアにはあまりありません)」とか「子どもたちはどんなアニメが好きですか？」といったことを聞かれました。「日本の子どもたちはポケモン、ドラえもん、ワンピース、スパイファミリー、となりのトトロなどが好きです」と答えると、「知ってる！」と嬉しそうにうなずいていました。



が大好きです」と答えると、「知ってる！」と嬉しそうにうなずいていました。



休み時間はスナックタイムといって、家から持ってきたおやつや果物を好きな場所で食べます。ボールを持って外に飛び出していく子もいます。スナックタイムは先生たちも職員室に集まって談笑しながらおやつを食べます。当番で校庭の安全を見守る先生もいます。



学習、特に算数のカリキュラムは日本よりもかなり緩やかで、かけ算は4年生から、わり算は5年生から始まります。かけ算九九の暗記やたし算ひき算の暗算は内容に入っていません。プリントなどの宿題はありませんが、毎日家で読書をするのが課題となっています。どんな本を読むかは一定の範囲の中から選びますが、先生が指定することもあります。読んだ本の主人公になりきって仮装し、一日その格好で過ごし、本を紹介するという行事があります。細部までこだわって衣装などを手作りする子もたくさんいます。学校で教えられる学習内容は少なく、一見楽なように見えますが、自分で課題を決め、それを調べたり実験したりして自分で解決することをかなり深いところまで行います。興味をもったことをとことん追究する学習を行っています。興味をもつきっかけを作ることやどうしたら解決できるか考えることに読書活動が生きてくるわけです。



国の方針や歴史、生活環境が違うため、教育の様子が異なるのは当然です。日本の教育の良いところもありますし、オーストラリアの教育方法を取り入れるとよいところもあると感じました。